



カナダ短期留学報告（その2）

NO.87

前号に引き続きカナダ短期留学に参加した生徒諸君のレポートをお届けします。

カナダ留学を終えて

高校2年2組 佐々木 洸士郎

今回このカナダ研修を通じて、貴重な体験をし、多くの刺激を受けることができました。この10週間という短期間の留学は振り返ってみればあっという間でした。その中でも特に肌身に感じたのは人々の優しさです。まず、ホストはとてもいい方たちで、可能な限り僕が好きなことをさせてくれました。例えば、アイススケートやアイスホッケーなどを友達としたいと言ったときも、ホストマザーが道具を他の人から借りてきてくれました。また、世界的にコロナが流行し始め、学校内である自分も参加する予定だったセミフォーマルというダンスパーティーもコロナの影響で中止となってしまいましたが、自分の友達はもちろんのこと、他の生徒たちも日本に帰国する時に心配をしてくれる人が多く、その時も人々の優しさを感じました。

次に感じたのは、僕が行っていた学校の生徒たちの意識の高さです。まず、僕が行っていた学校は40時間以上の社会奉仕活動が必要らしく、ほとんどの生徒はボランティアを継続的にしていて、その成果を授業で発表する機会もありました。また、僕の友達の中には他の人からクラウドファンディングで資金を募ったりしている友達もいて、その意識の高さに驚かされました。さらには、授業の中でプレゼンテーションをする機会がとても多く、自分自身もこの10週間の学校生活だけで4回も発表する機会があり、他の生徒のプレゼンテーションの完成力の高さには驚かされ、海外の生徒は机だけの勉強以外のことも大切にしていると感じると同時にそれらの大切さにも気づかされました。

また、僕のカナダでの体験の中でも個人的に衝撃だったのは、同級生がクルマを運転している、ということです。これは違法ではなくカナダでは16歳から仮免許？のようなものを取得でき合法で、東京のように電車が発達していないためどこに行くとしても交通手段は車であり、学校の放課後に友達の家で遊びに行ったり、ドライブしたりすることもでき、とてもいい思い出です。



最後に、今回の研修は刺激的で楽しい日々でした。また、充実したカナダ留学を実現できたのは、ホストやカナダで出会った友達、サポートしてくださった先生方、家族のおかげでした。本当にありがとうございました。

カナダ留学を終えて

高校2年7組 金澤 周平

中3、高1、どちらの海外短期研修にも参加しなかった僕は、カナダ留学の説明会に参加し、行ってみたいと思った。しかし、英語がそんなに得意でもなく、コミュニケーション力があるわけでもない僕がカナダで3か月近くも過ごすことはあまりイメージできず、不安もあった。ところが夏過ぎには行くことが決定し、海外生活が現実的になってきた。僕以外の4人は皆優秀で、優秀な4人と平凡な1人を海外に送る学校の実験なのかな、と思ったくらいだ。そんな風に渡航前は不安があったが、行ってみたら何とかあった。何とかなるだけでなく、とても楽しく充実した経験ができた。

僕のホストマザーはフェイさんというおばあさんで、いつも優しく接してくれた。僕のつたない英語が伝わらないことが何度もあったろうに、穏やかに何度でも聞いてくれた。学校ではギターやコンピューター、ツーリズムなど日本の授業とはだいぶ違う科目を履修した。クラスメートは分け隔てなく話しかけてきてくれて、家に遊びに行ったり、一緒に映画を見に行ったりする友人もできた。他にも教会やバスで話しかけられて親しくなった子もいる。その中のチアナは、毎日同じバスで通学するためどんどん親しくなった。ある日、フェイさんにチアナは女の子だと言われた。僕は当然男だと思って接してきたし、今もそうだと思っている。チアナは帰国後もよく電話をかけてくるが、いまさら君は男か？女か？とは聞けない。チアナの性別はまだ謎のままだ。学校、教会、バス、どこで会うカナダ人もみな親切にしてくれた。急に現れた外国人に話しかけたり、自宅に呼んだり、僕ならできるだろうか。多分できない。カナダの人は、外から訪れる人に対して壁がなく、フレンドリーだと感じた。英語も少しは上達した気がする。語彙がないので分からないものは分からないが、早口の英語には慣れた。英語の上達は少しだったが、優しい人たちに出会う経験はたくさん積めた。この機会を与えてくれた周りの人たちに心から感謝したい。



Stanford e-Japan 参加レポート

アメリカのスタンフォード大学が日本の高校生を対象に実施するオンラインプログラムに応募し、選考を通過した高校3年生の平田君がプログラム修了に当たりレポートを寄せてくれました。

Stanford e-Japan の参加報告

高校3年4組 平田 泰之

2月から6月にかけて、僕は、アメリカのスタンフォード大学による Stanford e-Japan というプログラムに参加しました。参加したと言っても、全てオンラインで行われるもののため、これのために外出するだとか、ましてやカリフォルニア州を訪れることも一度もありませんでした。

本プログラムは、アメリカの文化・歴史と日本との関連性を学ぶもので、毎回違う内容を議論して研究を進めます。シリコンバレーの話と言った比較的親しみやすい話題や、米国においての日本人の迫害と言った少し重い内容のこともありました。毎週、スタンフォード大学の教授や専門家による講義を受けて、それをもとにした課題が出されます。その後、他の参加者達とその内容について1週間をかけてディスカッションをして、最後は zoom で行われるヴァーチャルクラスで、実際に教授などと話して議論・質疑応答を繰り返す形です。最初は単純に面白そうと思い応募を決めたのですが、いざ参加してみると課題などをやるのに、週に少なくとも5、6時間は要するため、ちょうどこの期間、登校する必要がなかったのはとても助かりました。日々の課題とは別に、最後は論文の提出が求められます。論文と言っても、海城中学のレポートのようなもので、皆書きたいことを自由に書いていました。アメリカ（と日本の比較）についてのことを書かないといけないため、僕は日米の大学受験の違いが、それぞれの国の高校生の生活・活動をどのように影響しているかについて書きました。

一般的に、日本の大学の合否が入試の点数の優劣で決まるのに対し、米大学の場合は、エッセイ・活動歴・受賞歴なども考慮されます。一人の人として多面的に評価する受験戦争を勝ち抜くために、アメリカの高校生は、参加する活動に力を入れています。日本の学生は部活や塾などの学習にほとんどの時間を割きがちですが、アメリカの学生は高校卒業までずっと多数のスポーツや活動に参加しています。だから、アメリカでは複数の運動部に入る高校生や、複数のプロスポーツでドラフト1巡目指名を受けるような人がいるのです。もちろんスポーツに限らず、多岐に渡った分野で活躍するアメリカ人は、他にもたくさんいます。エンジニアでありながら内科医でもあり、初の黒人女性宇宙飛行士でもあった、メイ・ジェミソンを例に僕は調べました。このような興味から、この内容で最後の論文を書くことを決めました。

もちろん全て英語で書かれたものですが、僕を含め、参加者たちが書いた論文は、スタンフォード大学の本（雑誌）に載ります。学校の図書館に置いてもらえるかもしれないので、是非読んでみてください。僕が参加した春の部とは別で、秋の日程でも行われるようなので、参加に興味がありましたら是非調べてみてください。対象は高校生ですので、中学生のうちに培ったレポートの執筆力と英語力を試してみるには、絶好の機会だと思います。

オンラインイベント紹介

外部団体の企画をいくつかご紹介します。

① CTEP with Harvard Students CTEP=Critical Thinking in English Program

主催：JAAC（日米学術センター）

対象：英検準2級程度の英語力のある中学生・高校生（他校の生徒が参加することもあります）

内容：ケーススタディ形式のオンラインプログラムで今回のテーマは Admissions Office（アメリカの大学入学事務局）となります。参加生はあるトップ大学の入学事務局の審査担当者となり、三者三様の入学希望者から1名の合格者を決定するという課題に取り組みます。その過程で社会と教育、人の価値について考える機会が提供されます。

日程：8月11日（火）オリエンテーション&ワークショップの準備学習

ZOOMを使用し講師による2時間のバーチャルオリエンテーションを実施。終了後に1週間かけてセルフスタディによって準備を行います。

8月18日（火）Day 1 ワークショップ 10時～16時

ZOOMを使用し講師がテーマ理解のためのセッション・クリティカルシンキング実践方法の助言をしながら参加者が主体となりディスカッションをします。その後1週間をかけて「ケースリーディング」といって関連する英文資料を各自で読み込んで次回のワークショップにつなげてもらいます。

8月25日（火）Day 2 ワークショップ 9時～15時

時差の関係もあり、当日の午前中に参加生7名程度にハーバード大学生が1名参加するオンラインワークショップが実施されます。午後にはプレゼンテーションを行います。Zoomを使用してプログラムが実施されます。

参加費：4万4千円（税込み）

オンライン説明会：7月18日（土）又は7月27日（月）両日とも17時～18時で同内容

申し込み希望者はいずれかの日にぜひご参加下さい。両日ともZOOMを使用して実施されます。アドレスは以下の通りです。事前予約の必要はないので当日下記のアドレスにアクセスして下さい。ZOOMのインストールが必要になります。

7月18日（土）bit.ly/2W06sej 7月27日（月） bit.ly/2W5NSBm

興味のある生徒はチラシを差し上げますのでグローバル教育部に取りに来て下さい。

② 海外トップ大学進学説明会（河合塾・AGOS主催）

7月19日（日）18：00～19：30 ウェビナー形式で実施

8月22日（土）13：00～14：30 ウェビナー形式で実施

事前予約が必要となります。7月分は期日が迫っておりますが、希望者は個人的に申し込みをして下さい。

<電話>03-3364-9557（火曜休館） <Web> <https://bit.ly/3cW18Q5>